

# 宮代地区まち協通信

第111号

発行日 令和 5年3月1日

2023年



南宮大社の“卯”

## 鈴鹿の森庭園

撮影 福本 莞さん

### 鈴鹿市山本町

鈴鹿の森庭園は、日本の伝統園芸文化のひとつであるしだれ梅の「仕立て技術」の存続と普及を目的とする研究栽培農園です。匠の技と歴史が受け継がれた名木が200本植えられ、鈴鹿山脈を借景に桃色の大輪の花で彩られます。早春の美を見に出掛けられては如何ですか。



宮代地区連合自治会長  
「新しい年度に向けて」  
中嶋 幸男

## 目次

- 新しい年度に向けて
- 行事予定 (3月度)
- SDGs「水素」
- 活動報告  
＜1月・2月の活動＞
- 文芸の広場  
中山社 北野句会
- 宮代の人物シリーズ
- 編集後記

新型コロナウイルス禍の中を何とかくぐり抜け過ぎました。宮代地区の皆様と共に沢山の色々な課題を噛み砕き、前進してきました。

新年度も、新たに2名の新しい自治会長を迎え、引き続き宮代地区連合自治会を構成して、地域の発展を図るとともに、宮代地区まちづくり協議会に積極的に参加して、地域住民が住みよい、安全で安心な地域づくりに取り組んでまいります。

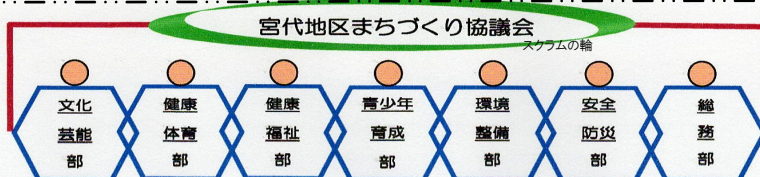
特に、新年度は、単自治会20名、並びに各団体が、宮代地区まちづくりセンターを中心に、「宮代地区防災会」を設立し、そこで、いつ災害があっても宮代地区の皆さんが対応できるよう避難訓練・防災訓練を実施しますので是非とも参加して下さい。

自助（まず第一にやる事、自分の命は自分で守る）共助（地域での協働、地域や近隣の人が互いに協力し合う）公助（行政による支援）をご理解いただき、いざというときには日頃の訓練とおりに、落ち着いて、迅速に行動出来るようにして頂きたいと思います。引き続き皆様方のご協力よろしくお願いたします。



### ＜新自治会長の紹介＞

(単自治会)	(氏名)
宮 処	水畑 弥彦
レンゲローズ	村田 明隆



# 行事予定



※各種教室などには別途チラシや案内書、又は記載されていないサークル活動や団体活動等があります。詳細はまちづくりセンターまで問い合わせ下さい。

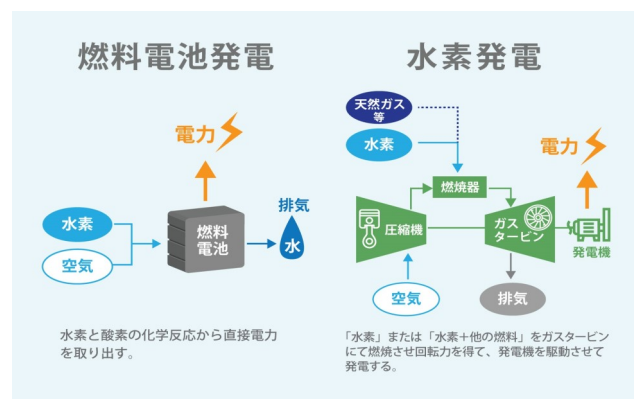
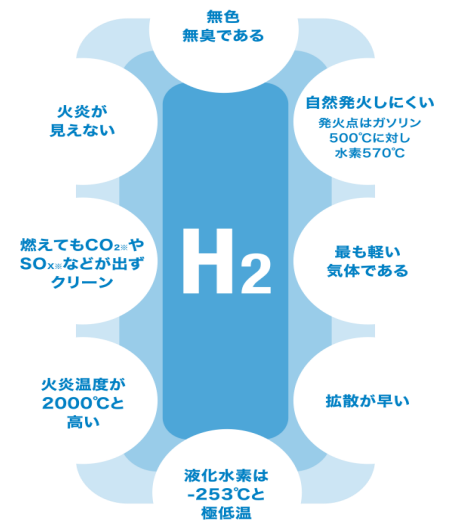
	事業名	日時	曜日	場所	備考
1	TS 琴好会「大正琴教室」	2日・16日 14:00~16:00	木	まちセン 大会議室	会員募集中
2	水墨画教室	3日・17日 13:00~15:00	金	まちセン 大会議室	会員募集中
3	水彩を楽しむ会	4日・18日 9:00~12:00	土	まちセン 小会議室	
4	土曜授業「巣箱掛け」	4日 9:00~11:00	土	南宮山登山口	5年生
5	「宮代防災会」設立総会	5日 9:00~10:00	日	まちセン 大会議室	
6	令和5年度自治会長会議	5日 10:00~11:00	日	まちセン 大会議室	
7	絵手紙教室	5日・19日 13:00~15:00	日	まちセン 大会議室	会員募集中
8	青少年育成推進委員会役員会	11日 19:00~21:00	土	まちセン 大会議室	
9	青少年育成推進委員会総会	25日 19:00~21:00	土	まちセン 大会議室	

## SDGs 次世代エネルギー「水素」

日本は「2050年までに温室効果ガスの排出量を全体としてゼロとする」というカーボンニュートラルの実現を目指すなか、お隣の愛知県では、いち早くそのカギを握る「水素エネルギー」の利用拡大へ向けた取組を始めました。

水素は色々なエネルギー源で、使用時に二酸化炭素を排出しないのが特徴です。また、水素エネルギーに交換することで全体として効率がとても良くなります。水素は長期間大量に貯蓄できるのがカーボンニュートラルに大きく寄与します。水素は現在燃料電池「エネファーム」などで活用され、将来的には水素を大量に利用する発電や熱利用、製鉄にも広がってゆくそうです。

エネルギー消費全体の20%程度が水素を利用する社会になれば、エネルギーセキュリティと地球温暖化防止に対して十分な“正味の寄与”と“量的な寄与”があるといわれており、その為には、サプライチェーン(つくる・運ぶ・貯める・使う)全体の“正味”のCO2削減と水素需要の拡大が必要であり大規模な「低炭素水素サプライチェーン」の構築が欠かせないと、専門家の方々が熱望しています。カーボンニュートラルに寄与する水素エネルギーについて多くの方に理解して頂きたいものです。





# 活動報告



1/20~2/19

ふれあうこころ集こまつ  
明るく住みよいまちへ  
宮代地区まちづくり協議会

1月29日 宮代小学校体育館にて「親子凧揚げ大会」が開催され、凧に思い思いの絵を描き、運動場が雪で使用できなかったため体育館を走り回って作った凧をあげました。



2月2日 「ヨガ教室」が開催されました。先生の指導で普段は動かない身体の隅々まで出来る範囲で気持ちよく伸ばしたり、縮めたりしていました。



2月2日 大正琴の「TS琴好会」が開催され、先生の指導で音合わせしたり、課題曲を演奏したりして、繰り返し練習されていました。



2月7日 小学校にて「昔の遊び体験教室」が開催されました。かるた・けんだま・おてだま・こままわしを、むかしよく遊んで腕に覚えのある方々に先生になって頂き、繰り返し何度も練習し、コツをつかみ成功すると大変嬉しそうでした。



2月18日 小学校において、土曜授業「雅楽教室」が6年生対象に開催されました。初めて見たり、聞いたり、楽器を手にとったり、大変興味深そうに授業を受けていました。



2月18日 小学校において、土曜授業「巣箱作り」が5年生対象に開催されました。授業参観日と重なり親子で巣箱を作りました。3月4日に作った巣箱を南宮山の登山口に掛けます。





\*奉納の 鎌の刃光り 春立ちぬ

久保田 絃義

\*夢の端に 聞こゆる庭の 猫の恋

川瀬 慶泉

\*人影の 消えし冬田や 遠伊吹

大羽 志風

\*唐椿 主なき庭で あざやかに

俣島 法苑



## 宮代の人物シリーズ

「宮代の自然と歴史・文化を愛する会」 藤塚 久勝

### その三 秀覚法印 (しゅうかくほういん)

秀覚法印は、文政元年(1818年)五月五日に安八郡難波野村 大橋土蔵の次男として生まれた。文政11年4月、真禅院において出家、得度し、明治元年に入寺、朝倉真禅院10世となった。

郷土の重要文化財を代表する南宮神社の建造物は、明治維新までは千年来神仏合体の美しい調和を誇る社殿堂塔の配建構成であったが、明治初年(1868年)に神仏分離令によって仏像、仏具、堂塔などの一切を撤去されるという羽目にあった。この時、真禅院の秀覚法印は、この悲運の廃滅を拱手傍観することができず、諸堂塔坊舎移転の大悲願に敢然と決起したのでした。地元の宮代はもちろん、垂井町民も、この世紀の大業に立ちあがらせた。明治4年3月までの数年間で、南宮神社の寺院関係の、諸堂塔を現在の朝倉に移しました。

神仏分離令により、このように諸堂塔を完全に移建して、文化財の万全を完徹した名大社寺が他に何処にあるでしょうか。

秀覚法印は、明治10年11月24日没。行年60歳「實厚院法印秀覚大和尚」

(参考文献) 新修 垂井町史

国重要文化財 三重塔



### <編集後記> ★ひな祭り

3月3日は「ひな祭り」です。ひな祭りとは、女の子の健やかな成長と健康を願ってお祝いをする日です。中国の「上巳(じょうし)の節句」が由来とされ、人形に自身の穢(けが)れをうつして、身代わりに厄を払うため川に流す「流し雛」が行われていましたが、江戸時代に「雛人形」を飾る現在の形になったと伝えられています。

3月・4月(予定)の休館日

3月 7日(火)・14日(火)  
21日(火)・28日(火)  
4月 4日(火)・11日(火)  
18日(火)・25日(火)

### 編集・発行

〒503-2124  
不破郡垂井町宮代664番地4 宮代地区まちづくりセンター  
TEL・FAX: 0584-22-1010



宮代地区まちづくり協議会 西川 一明  
E-mail: miyashirokou@town.tarui.lg.jp



宮代の冬景色の特徴 雪の季節来迎し

紙面充実へ皆さまのご意見をお寄せ下さい